

「政策のための科学」
基盤研究・人材育成拠点：一橋大学

2012年10月27日

一橋大学イノベーション研究センター

青島矢一

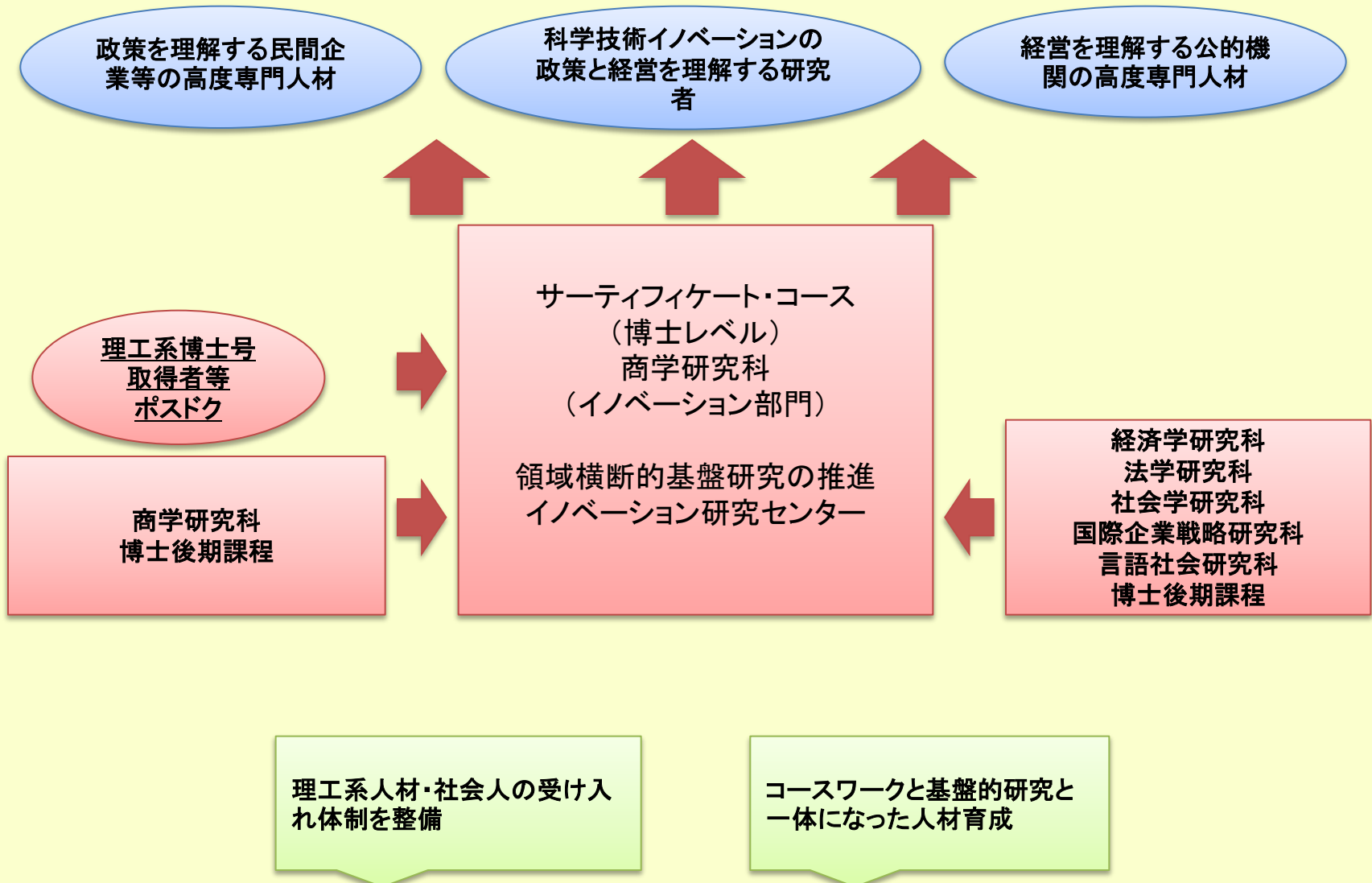
イノベーションの現場に対する 深い理解の重要性

- 科学技術政策に対して、イノベーションの現場に関するミクロの知見（産業技術の発展、競争構造の変化、企業経営の論理、技術者の論理など）をインプットすることが重要であるという認識
- 国のイノベーションシステム全体のあり方を総合的に考える上で、つまり、「革新の創出＋革新への資源動員」を実現する補完的・代替的システムの検討を行う上で、企業を中心としたイノベーションシステムに関するこれまでの知見が重要となるという認識

一橋大学のはたす役割

- 社会科学の立場から、イノベーション政策に影響力をもちえるイノベーション研究者を育成する教育プログラムの開設。特に、理工系バックグラウンドをもつ人たちの受け入れを促進（イノベーションマネジメント・政策プログラム）。
- 企業経営などイノベーションの現場に対する深い理解に基づくこれまでの研究を基盤にして、それを政策立案につなげる研究体制と連携体制の構築
 - － 産官学連携プログラムの連動，人材育成プログラムとの連動
- イノベーション・プロセスに関して蓄積された知識・情報を外部に積極的に発信する。特に政策立案の場に情報を継続的にインプットし、相互のやりとりを促進する。
 - － 社史データ、経営者データ、イノベーションのケーススタディ、長期統計、特許データなど蓄積された情報をオープン化して、相互活用を促進する

一橋大学における基盤的研究推進と人材育成



「イノベーションマネジメント・政策コース」 (Innovation Management and Policy Program: IMPP)

- 博士レベルとし、共同リサーチセミナーへの参加及び大学院が提供する科目の履修（10単位）に加えて、研究論文2本をサーティフィケート取得の条件とする。
 - 必修科目（3科目、6単位）、選択必修科目（科目群から3科目、6単位）及び選択科目（1科目、2単位 大学院及び学部科目から自由履修）から構成。
- 学長及び商学研究科長よりサーティフィケートを交付する。全学の研究科の大学院生、ポスドク、社会人等に広く開放する。
- 履修者の利便を考慮し、土曜又は夜間での講義を中心とする。

サーティフィケート・コース 必修科目

- イノベーションリサーチセミナー
 - － 原則、関係教員全員参加による集中演習。分野横断的な視点から研究指導を行う。
- イノベーションと経営・経済・政策
 - － 科学技術イノベーション・システム（科学技術及びイノベーションのプロセス、メカニズム、効果等）を社会科学の側面から俯瞰的にとらえるため講義。
- イノベーション研究方法論
 - － 科学技術イノベーション・システムの社会科学的研究に必要とされる、定量的、定性的方法論を習得するための講義
- 先端科学技術とイノベーション
 - － 社会学者と最先端の技術者・研究者の組み合わせによるオムニバス形式の講義。5モジュール（5つの技術領域）から構成される。